

はちまるにいまる
8020運動推進部会の開催状況について

健康づくり推進条例第23条第4項、健康づくり審議会規則第8条に基づき設置される部会である「8020運動推進部会」の平成26年度開催状況については、以下のとおりです。

1 開催日時等

区分	開催日時・場所・出席者	議 題（報告事項を除く）
1 回 目	9月5日(金)14:00~15:30 兵庫県歯科医師会館 出席：18名	(1) 兵庫県の歯科口腔保健における課題解決に向けて ～ライフステージ別の取組の促進を図るために～
2 回 目	3月17日(火)14:00~15:30 兵庫県歯科医師会館 出席：17名	(1) 平成27年度事業計画に基づく歯科口腔保健の 推進について (2) 県民性を活かした歯科口腔保健の効果的な推進 体制をすすめるために

〔委員数： 委員数 21人（健康づくり審議会委員12人、専門委員9人）

2 主な意見

(1) 1回目

① 兵庫県の歯科口腔保健における課題解決に向けて

- ・ 幼児期、小学生低学年は年々う歯の数も減り、効果が見られるが、中学、高校等成長につれ悪くなっている。若者世代から、もっと歯の重要性が届くよう、予防的な取組の推進・啓発が大切。
- ・ 障害者（児）、認知症、在宅療養者などに対応できる、専門的人材の育成が必要。
- ・ 地域格差の是正に向けたデータの集約と取組の推進が必要。

(2) 2回目

① 平成27年度事業計画に基づく歯科口腔保健の推進について

- ・ 口腔保健支援センターは関係団体との連携・調整などの機能を主として、歯科口腔保健の中核的役割が担えるよう期待する。
- ・ 兵庫県は健康づくり推進条例の中に歯科を組み込み、会議にも歯科専門職以外の参画が多いなどの強みがあるので、強みを活かした歯科口腔保健を推進したらよい。
- ・ むし歯・歯周病の予防は生活習慣なども大きく関連するので、若者層等早い時期から全身の健康づくりとからめて啓発していくことが大切。
- ・ 対象ごとに重点啓発事項を決め、媒体を工夫することなど効果的にすすめること。

② 県民性を活かした歯科口腔保健の効果的な推進体制をすすめるために

- ・ 「8020運動」は若年層や歯を喪失した方にはぴんと来ない。ユニバーサルに全ライフステージの方へ啓発できるようなキャッチコピーを考えてほしい。「ピンクリボン運動」「ブルーライト運動」などの成功事例を参考にしてはどうか。
- ・ 子どもに人気の「兵庫県マスコット はばタン」を活用するなど、子どもにも分かりやすい啓発を行っていただきたい。